

1 概況

各地区の摘採は、冷蔵網では1～4回目、秋芽網では2～7回目を実施しています。
植物プランクトンは各地で増加しており、特に知多西岸地区で顕著に増加しました。栄養塩は先週と比べると、西三河地区中東部を除く全域で減少傾向で、知多西岸地区及び東岸地区と西三河地区西部では不足しています。
最近是比较的気温の高い日が続きましたが、来週中盤以降は、一転して気温がかなり低下する見込みです。病症害の予防を心がけるとともに、食害の被害がみられる漁場においては、防除網等の対策を継続してください。

2 気象・海況

<水温> 1月29日

<水温> 1月30日

<潮位偏差> 1月29日

2～3号 ブイ平均 (-3.5m)	日平均水温	9.0 °C	漁生研 (-1.0m)	10時水温	9.3 °C	名古屋港	日平均偏差	+8 cm
	平年差	+1.4 °C		平年差	-0.5 °C		5日平均偏差※	+4 cm

※1月25日～1月29日までの平均

<栄養塩・赤潮> (各のり研究会調査)

地区	栄養塩	赤潮	特記事項
知多西岸地区	少ない	あり	植物プランクトンは多い
知多東岸地区	少ない	なし	植物プランクトンは少ない
西三河地区	西部: やや少ない、中東部: 多い	なし	植物プランクトンはやや多い
東三河地区	本年度の調査終了		

※基準(単位: $\mu\text{g/L}$) 多い: 121～、やや多い: 81～120、やや少ない: 41～80、少ない: ～40

※植物プランクトン基準(単位: 細胞/mL) 多い: 10,000～、やや多い: 5,000～10,000、少ない: 1,000～5,000、散見: 100～1,000、ほとんどいない: ～100

<気温動向の予測> (気象庁週間天気予報より 予報期間: 1月31日から2月6日まで)

今後1週間	平均気温は、期間の初めから中盤にかけて高くなる日が多く、期間の後半はかなり低くなる日が多いでしょう。
-------	--

3 クロノリ養殖状況

地区	摘採回数	1網当たりの生産枚数	製品	食害	病症害 その他
知多西岸地区	冷蔵: 1～4回 一部秋芽: 2～4回	冷蔵: 300～1,000枚 秋芽: 800～1,000枚	漁場により色調が低下	カモ、魚	一部であかぐされ病
知多東岸地区	秋芽: 3～6回	300～1,200枚	色調低下	なし	目立った病症害はなし
西三河地区	冷蔵: 2～3回 一部秋芽: 7回	600～1,200枚	色調低下	一部に カモ	病症害なし
東三河地区	秋芽: 2～3回	1,200～2,400枚	漁場により色調が低下	概ねなし	病症害なし

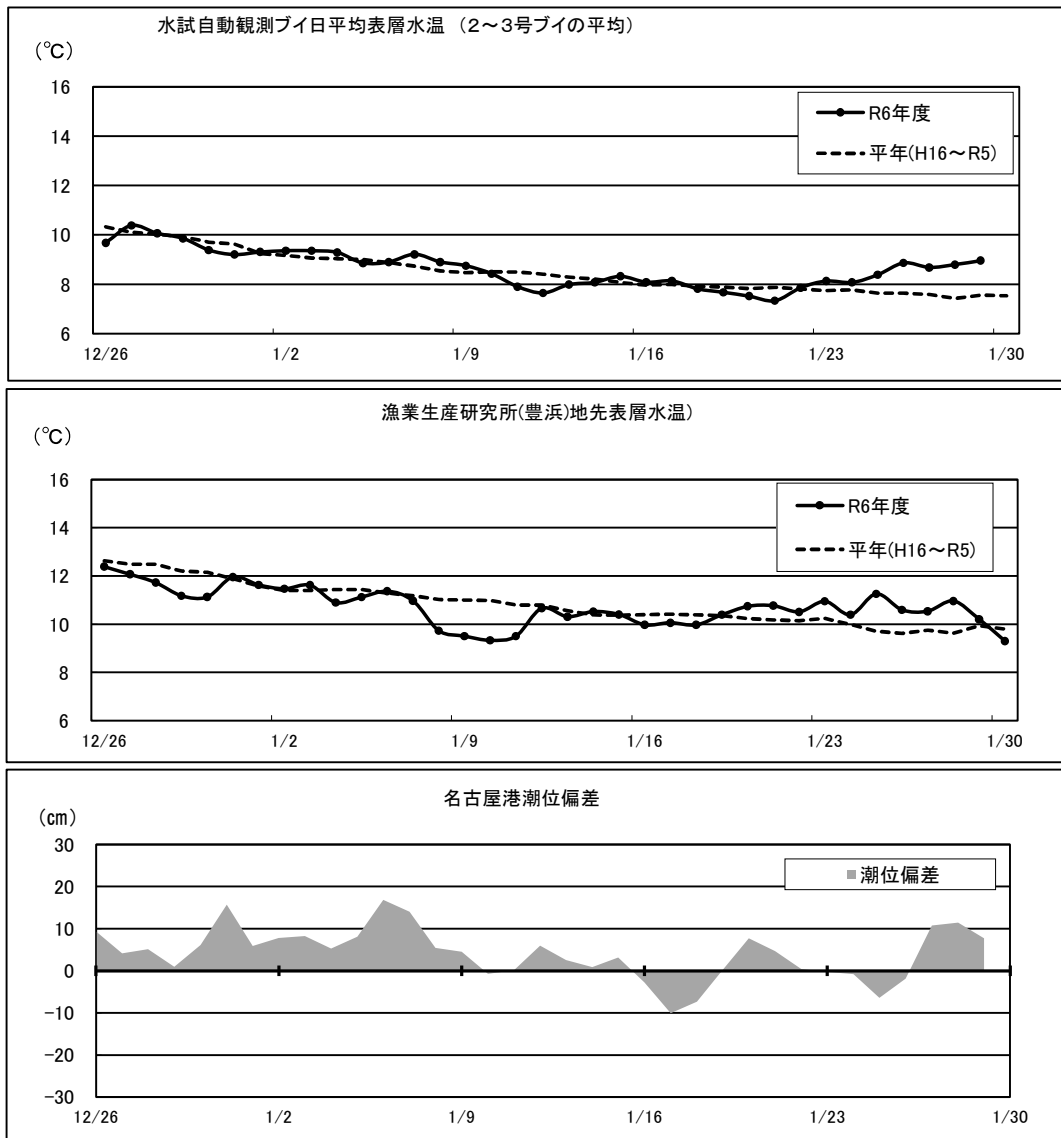
4 今後の管理

- ① 病症害等の予防のため、適正な干出と早期摘採を心がけ、製品の向上に努めること。
- ② 製品の選別及び異物の検査を厳正に行うとともに、衛生管理に努めること。

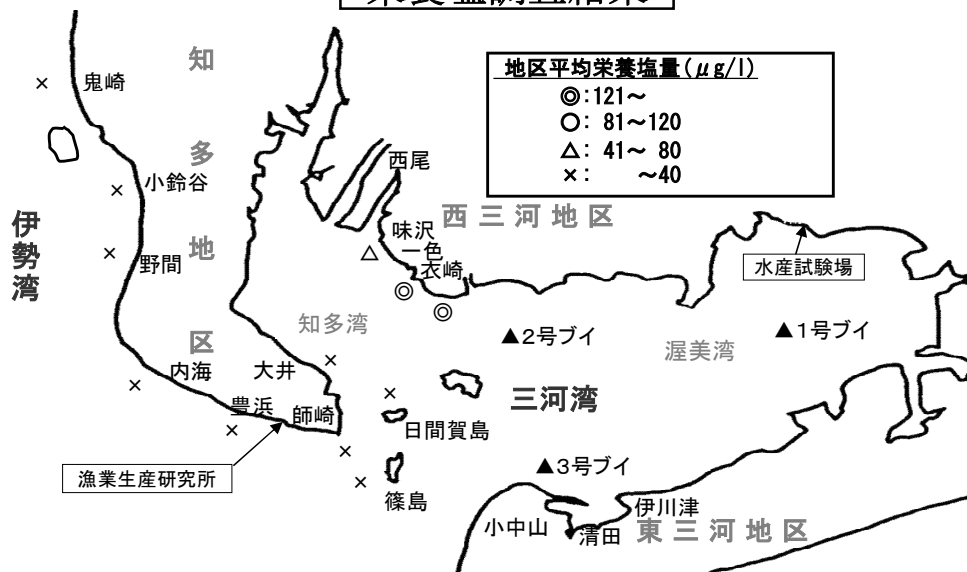
水産試験場が提供する「のり養殖情報」、「赤潮情報」及び「自動観測ブイ情報」は、インターネット上で閲覧することが出来ます。
水産試験場ウェブページのトップページから移動できます。アドレス: <https://www.pref.aichi.jp/suisanshiken/>

内容に関する問い合わせ、ご意見は、愛知県水産試験場 企画普及グループ(TEL 0533-68-5198)へ
次回は2月6日(木)発行予定です。

伊勢湾・三河湾海況データ



栄養塩調査結果



栄養塩調査日：知多:1月30日(木)、西三河:1月29日(水)、東三河:調査終了
調査機関：知多のり研究会、西三のり研究会、東三のり研究会